

2026年5月28日

各位

会社名 大和電設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 櫻田 孝喜
問合せ先 取締役常務執行役員企画総務部長 岸本 文明
(TEL. 022-216-3111)

大和電設工業株式会社 社名を「株式会社DAIWA」へ変更

大和電設工業株式会社（本社：仙台市青葉区大町二丁目5番1号 代表取締役社長：櫻田 孝喜）は東北に根差した総合エンジニアリング企業として、事業展開の拡大及び企業ブランド強化を目的に、2026年7月1日付で社名を「株式会社DAIWA」へ変更することをお知らせします。

1. 社名変更の背景・目的

当社は1949年の創業以来、通信建設事業を中心に事業を展開してまいりました。創業77年を迎える現在は、ソフトウェア開発を含むシステムソリューション分野や電気設備分野への事業拡大など事業領域が広がっています。

こうした事業展開を踏まえ、企業ブランドの更なる向上と今後の成長戦略を明確にするため、「東北ビジョン2030」を策定し、本ビジョンを着実に推進して今後の一層の飛躍を図るべく、社名を変更することいたしました。

大和電設工業として築いた歴史を受け継ぎ、これからの100年に向けて「DAIWA」として歩んでまいります。

2. 新社名

- 旧社名：大和電設工業株式会社 英語表記「DAIWA DENSETSU CORPORATION」
- 新社名：株式会社DAIWA 英語表記「DAIWA CORPORATION」

3. 社名変更日

2026年7月1日（水）

4. 新社名のロゴ



※ 社名変更後もロゴの変更はございません。

5. シンボルマークとロゴについて

DAIWAブランドアイデンティティの観点から、昭和39年制定のシンボルマークを廃止し、ロゴマークをシンボルマークとして制定します。

6. 「東北ビジョン 2030」について

東北エリアにおけるエクシオグループ株式会社は、東北支店をはじめ、大和電設工業株式会社、エクシオ・エンジニアリング東北株式会社、北日本通信株式会社など多くのグループ会社・拠点が連携し事業を展開しております。このグループ全体の力を結集し、東北エリアにおける地域社会へのさらなる貢献と最適な事業運営による持続的な成長を目指す指針として、「東北ビジョン 2030」を策定いたしました。（別添参照）

以上



「東北ビジョン2030」の実現、
そして更なる飛躍に向けた **社名変更** について



大和電設工業株式会社

ご挨拶 『東北ビジョン2030』の策定と社名変更について

現在、東北エリアにおけるエクシオグループは、東北支店をはじめ、仙台市に本社を置く大和電設工業株式会社、エクシオ・エンジニアリング東北株式会社、盛岡市に本社を置く北日本通信株式会社など、多くのグループ会社・拠点が連携しながら事業を展開しております。

このたび、グループ全体の力を結集し、東北エリアにおける地域社会へのさらなる貢献と、最適な事業運営による持続的な成長を目指す指針として、『**東北ビジョン2030**』を策定いたしました。今後は、この『東北ビジョン2030』の実現に向け、グループ一体となって取り組みを一層強化してまいります。

また、本ビジョンを力強く推進し、更なる飛躍を図るため、東北エリアの中核会社である大和電設工業株式会社は、2026年7月1日より、社名を『**株式会社DAIWA**』へ変更することといたしました。約70年にわたりお客様と築いてきた安心と信頼の絆を礎に、企業としての価値と存在感をより一層高めていく所存です。

私たちはこれからも、人と想い、そして「技術をつなぎ」、東北の人々と共に歩む情報通信インフラ企業グループとして、「地域とあゆみ」続けながら、インフラ事業やシステムソリューション事業等を通じ、東北の「未来をつくる」ため、新たな挑戦を続けてまいります。

今後とも、変わらぬご愛顧とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 櫻田 孝喜

『**東北ビジョン2030**』 お客様と地域の未来のために実現する3つの柱

I 事業領域の拡大

地域を支える事業を確実に提供し、皆様のより良い暮らしを実現するため、地域と共に新たな事業領域に挑戦します。

II 業務運営の変革

現状維持の意識を克服し、業務の標準化とデジタルトランスフォーメーション〈DX〉により、新たな業務運営スタイルへと変革します。

III 愛され続ける企業

多様な人が集まり、やりがいを感じ、豊かな暮らしを当たり前にしていくことで、皆様から愛され続ける企業の基盤・風土を創ります。

事業領域の拡大の実現に向けて

事業領域の拡大

地域を支える事業を確実に提供し、皆様のより良い暮らしを実現するため、地域と共に新たな事業領域に挑戦します。

主な事業

取組みのポイント

KPI for 2030 (対2025)

都市インフラ

- DAIWAとグループ各社は、それぞれの特色を生かしつつ、力を合わせ、ALL東北の対応力で、事業領域を拡大します。

ICT

- 全国エリアに豊富な人財を抱えるグループ会社とDAIWAの一体的運営により、未だリーチできていないお客様や、イノベーション領域等、新領域へアプローチを拡大していきます。

ソリューション

- DAIWA独自のソリューションである『ニュートリメイト』のクラウド化を契機に、新規ユーザーへのプロモーションを強化し、大規模ユーザー市場等でのシェア拡大を目指します。

- 売上 1.5倍
- CAGR 5%

II 業務運営の変革の実現に向けて

II 業務運営の変革

現状維持の意識を克服し、業務の標準化とデジタルトランスフォーメーション〈DX〉により、新たな業務運営スタイルへと変革します。

主な事業

通信インフラ

取組みのポイント

- DAIWAとグループ各社は、各県域エリアで実施している業務の標準化を進め、**効率的な運営体制を構築**します。
- アクセス系技術者とモバイル系技術者のスキル融合等により、自社による工事実施範囲を拡大し、**コストの抑制と品質向上の両立**に努めます。
- 併せて、お客様のご希望に沿えるように、**地域に根付いた運営体制**へと、拠点配置の見直し・拠点整備を進めます。

KPI for 2030 (対2025)

- **コスト5%削減**
- **地域に根付いた運営体制整備**

III 愛され続ける企業の実現に向けて

III 愛され続ける企業

多様な人が集まり、やりがいを感じ、豊かな暮らしを当たり前にしていくことで、皆様から愛され続ける企業の基盤・風土を創ります。

主な事業

地域共創

取組みのポイント

- DAIWAとグループ各社は、**地域社会との共生を大切に**し、地域イベントへの協賛・参加、ふるさと納税などを通じ、地域とともに歩み続けます。
- **地域インフラを支える企業として**、自然災害等の有事においても、迅速かつ誠実な対応を通じ、地域の安心・安全を守ります。
- **多様な人財がいきいきと活躍できる環境づくりを進め**、男女共同参画や女性活躍、子育て支援等の取組みを継続し、働きやすい職場づくりのトップランナーであり続けます。

KPI for 2030 (対2025)

- **お客様・地域から信頼され、選ばれ続ける企業風土の定着**
- **多様な人財が安心して働き続けられる環境の維持・向上**

社名変更

『東北ビジョン2030』の実現、そして更なる飛躍に向けて

これまで歩んできた70余年
Since 1949.8.1

これからの100年
From 2026.7.1

 大和電設工業株式会社



株式会社 DAIWA

「技術をつなぐ」「地域とあゆむ」「未来をつくる」

これからも変わらない経営理念のもと、事業領域の拡大と業務運営体制の変革に取り組み、お客様との安心・信頼の絆をさらに確かなものへ、**地域に愛され続ける企業**を目指します

The logo for DAIWA features the word "DAIWA" in a bold, blue, sans-serif font. A pink diagonal bar is positioned behind the letter "A", extending from the top right towards the middle of the letter. The background of the slide includes a pink diagonal shape in the top left and a blue diagonal shape in the bottom left.

DAIWA

「技術をつなぐ」「地域とあゆむ」「未来をつくる」

〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目5番1号

<https://www.ddk.co.jp>